事務事業ID
1323

平成27年度　事後評価

事務事業マネジメントシート

作成日　平成28年3月24日
更新日　平成28年3月29日

事務事業名	中2職場体験事業	担当部	教育部	担当課	教育委員会教育部学校教育課
		担当係	指導係		

政策体系			
政策	2	豊かな心を育むまちづくり	
施策	2	「生きる力」を育む学校教育の充実	
基本事業	2	豊かな心を育む教育の推進	

予算科目	会計	款	項	目	大事業
	一般会計	10	3	2	職場体験、キャリア学習事業費

事業区分	
新市建設計画・一般業務	一般業務
新規事業・継続事業	継続事業
計画事業・経常事業	計画事業
市単独事業・国県補助事業	市単独事業
実施形態	直営
事業期間	～

【PLAN（計画）】

施策の目的（最終目標）	変化の激しい社会を生き抜くための、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身に付けた児童・生徒を育み、社会貢献する自立した人間を育成する。
施策の直近の目標（施策マネジメントシートから要約転記）	学校生活満足度、学校満足度を高めるための学級経営を充実させるとともに、キャリア教育を推進する。

目指すべき状態（目的・成果）

①対象（誰、何に対して事業を行いますか）	対象者(中学2年生) 伊達中137名、梁川中169名、松陽中69名、桃陵中154名、霊山中49名、月舘中27名　計605名	②意図（どのようになることを目指しますか	職場体験学習の充実を図る。
③ 目指すべき状態（①,②）になるために必要なことは何ですか？【成果の視点】	職業に関する理解と自立への意欲を育む。		

④成果指標（意図の達成度を表す指標）		単位	数値区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
A	職場体験実施校	校	見込み値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	0	0	0
B			見込み値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

【現状把握】

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	合併により、旧町で行っていた中2生徒の職場体験を引き継ぐ事業として実施した。
この事務事業の「対象」の現状はどのようになっていますか？	伊達市内の事業所を優先して事業を実施しているが、職種によっては福島市内の事業所まで行かざるを得ない生徒もいるのが現状がある。 学校や事業所からは、5日間連続した日程や活動内容を捻出することが厳しい状況にあるとの意見がある。

【DO（実施）】

手段

事業概要	職場体験は、市内すべての中学校2年生を対象に、伊達市内及び近隣の事業所において3～5日間実習体験学習を実施する。 対象　全中学校者2学年生徒
主な活動	年度実績(実施した主な活動) 中学2年生による職場体験学習実施に対する移動経費・保険等の補助を行う。 1　各学校の職場体験先開発の支援 2　体験報告書の作成・提出依頼 3　徒歩以外の生徒輸送用バス代等予算の確保

【総事業費】

投入量

	年度 / 単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（予算）	29年度（計画）	30年度（計画）
事業費 財源内訳 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳 都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳 地方債	千円	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳 その他	千円	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳 一般財源	千円	594	498	882	0	0
事業費計（A）	千円	594	498	882	0	0

事務事業ID	1323	事務事業名	中2職場体験事業	担当部	教育部	所属課	教育委員会教育部学校教育課

【SEE（振り返り評価・改革改善策）】※原則事後評価

目的妥当性	①この事務事業の目的（対象・意図）は、政策・施策目的と合致していますか？		
	1：行政経営方針と目的が合致している	理由	「生きる力」をはぐくむ事業であるため、目的と合致している。
	（合致していない場合は、合致する施策名・目的を記入してください）	見直し案	継続して事業を進める。
	②この事務事業の現在の対象と意図は妥当ですか？		
	1：対象・意図ともに妥当である	理由	妥当である。
	（検討の余地がある場合、見直し後の対象・意図も記入してください）	見直し案	継続して事業を進める。
	③本市が関与すべき事務事業ですか？		
	1：民間やNPO等で類似事業を行っておらず市が行う以外にない	理由	市以外にない。
	（民間事業者、NPO等が実施すべき場合は、関与すべき主体も記入してください）	見直し案	継続して事業を進める。
有効性	④目的（対象・意図）、成果の視点から現状を見て、この事務事業の取組みにより、成果は上がっていますか？		
	1：成果の視点に掲げたことは概ね達成した	成果が上がっている点を理由を付して記入してください	生徒、教職員、事業所のアンケートから満足度が上昇している。
		成果が上がっていない点を理由を付して記入してください	協力事業所数を増やす。
	⑤現在の事務事業の成果（上記④）は、成果の視点から見て、次年度の成果をどのように考えますか？		
	2：現状維持とする	理由	現状を維持する。
	さらに向上させる及び向上・維持は見込めない場合、見直し後の成果の視点を記入してください	見直し案	現状を維持する。
	⑥国・県及び庁内において統合または連携可能な類似事務事業はありますか？		
	1：国・県・庁内に目的を同じくする他の事業はない	理由	目的を同じくする事業はない。
	（連携または統合が可能である場合、見直し案を記入してください）	見直し案	市単独での事業の継続が必要である。
効率性	⑦必要な活動に対して事業費は適切ですか？（成果を下げずに事業費を削減できませんか？）		
	1：適切である	理由	適切である。
	（削減取組中の場合は取組内容を、圧縮の余地がある場合は見直し案を記入してください）	取組内容／見直し案	現状を維持する。
	⑧必要な活動に対して仕事の進め方は効率的ですか？（成果を下げずに業務時間を削減できませんか？）		
	1：効率的である	理由	効率的である。
	（効率化取組中の場合は取組内容を、効率化を図る余地がある場合は見直し案を記入してください）	取組内容／見直し案	現状を維持する。

【評価結果】

総合評価	継続実施（改善・見直	今後の事業全体の方向性とその内容	市内の協力事業所拡大、および生徒のニーズに対応する多様な職種の協力事業所開拓を行う。 移動費事務の適正な執行を行う。
次年度へ向けた次の行動・具体策	目的・成果の視点を達成するために、「達成できた事項をさらに伸ばす方策」及び「解決すべき問題への方策」「新たな取組み」を具体的に記入してください		
	市内協力事業所の拡大と多様な職種の事業所の確保のため、職場体験事業に協力していただいた事業所を広報するためのポスター（ステッカー）を作成・配布し、市内事業所の理解と協力体制を得る。		

担当者のコメント	担当者として事業を進めていてうれしかったこと、悩んでいること、市民に伝えたいことなどについて記入してください。

係・課内での意見交換実施日	係内	課内
	H28.3.29	H28.3.16